

# 「ふくすいき

令和5年3月号

# ～福水企～」通信



企業団キャラクター  
ピュータくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課  
福岡市南区清水四丁目 3-1  
TEL 092-552-1731(代)

## ■ 企業団・構成団体の動き

### ● 令和5年第1回福岡地区水道企業団議会〔2/6(月)～7(火) 企業団議場 外〕

企業団議会（議長：高木勝利議員、副議長：藤本顕憲議員）の定例会が開かれ、1日目は、まず、本会議において、企業長が提出した次の5議案が上程されました。

- ① 令和4年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計補正予算案（第2号）
- ② 令和5年度福岡地区水道企業団水道用水供給事業会計予算案
- ③ 福岡地区水道企業団個人情報の保護に関する法律施行条例案
- ④ 地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案
- ⑤ 福岡地区水道企業団行政不服審査法施行条例の専決処分について



本会議の様子

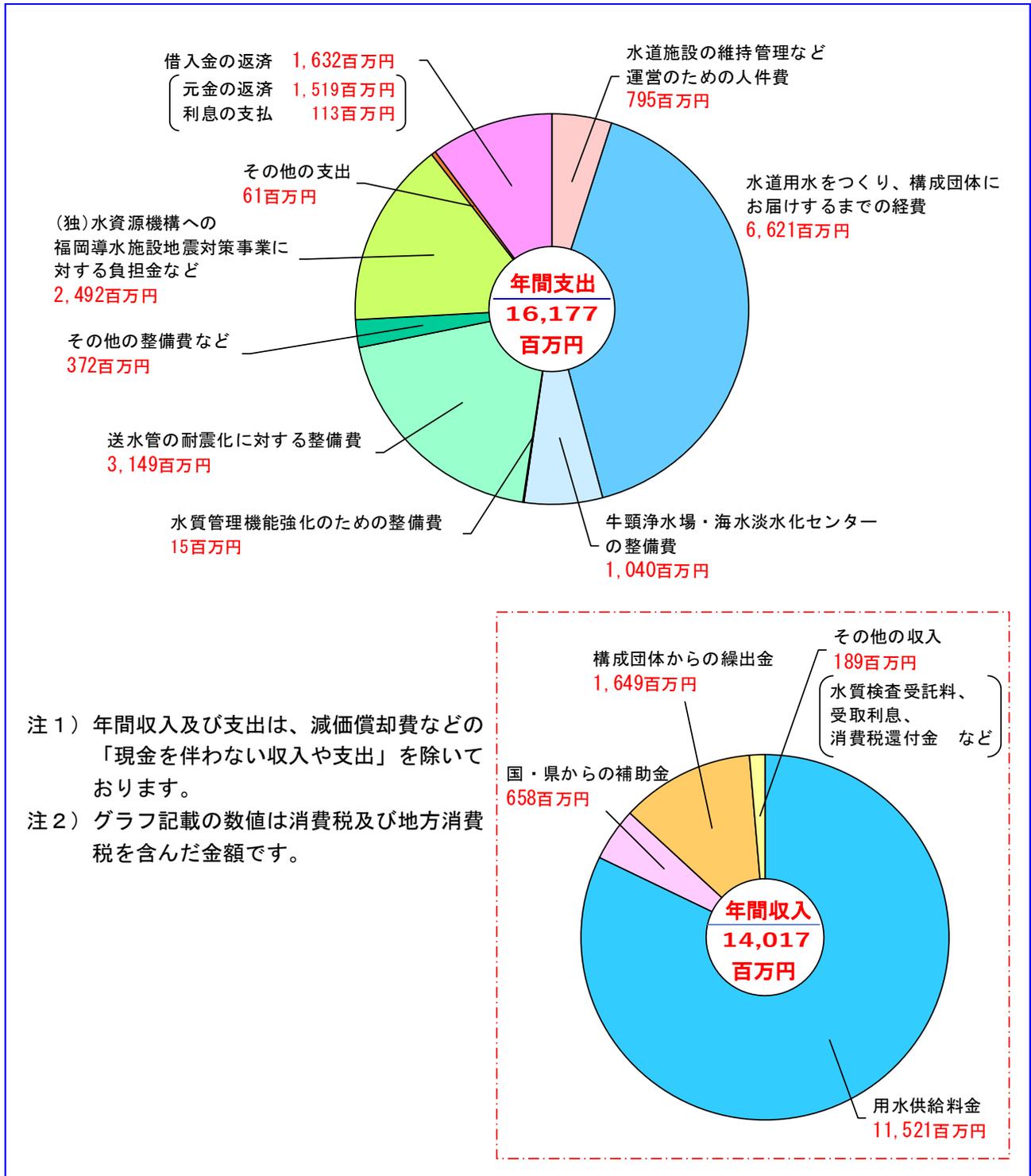
次に、条例予算特別委員会（委員長：堀内徹夫議員、副委員長：堀田勉議員）が設置され、2日目は、同特別委員会で、議案について詳細な審査が行われました。

特別委員会終了後、本会議が開かれ、企業長提出議案は全て原案どおり可決又は承認、その後、議員提出議案として「福岡地区水道企業団議会の個人情報の保護に関する条例案」が上程され、この議案も原案どおり可決されました。

<議会事務局 山田>

## 令和5年度の財政状況

用水供給事業については、事業の運営や水道施設の整備、借入金の返済などのため年間 16,177 百万円を支出し、新たな借入を行わずに、用水供給料金などの年間収入 14,017 百万円と保有資金 2,160 百万円の繰入で賄う予定です。



## 令和5年度構成団体への供給水量 (6市、6町、1企業団、1事務組合)

項目	令和5年度
年間供給水量	91,812,303 m <sup>3</sup>
一日平均供給水量	250,853 m <sup>3</sup>

## ■ 企業団設立 50 周年記念事業

### ● 企業団設立 50 周年記念事業マネジメントスタッフ（学生おうえん隊）について

当企業団は、令和 5 年 6 月に設立 50 周年、11 月には用水供給開始 40 周年を迎えます。

50 周年を迎えるにあたり、福岡都市圏のみなさんに「水の大切さ」や「都市圏の水事情」についての理解を深めていただき、水源地の方々へ「筑後川への感謝の気持ち」を届けるため、令和 5 年度に「50 周年記念事業」を実施します。

その記念事業の実施に向け、渇水を知らない若い世代の理解と共感を得ながら取り組むため、福岡都市圏の大学に通う学生を対象に「50 周年記念事業マネジメントスタッフ（学生おうえん隊）」を令和 4 年 12 月に創設しました。

マネジメントスタッフが活動を通して、感じたこと、学んだことなどをお届けします。

#### 井上

福岡地区水道企業団の 50 周年のイベントにマネジメントスタッフとして、関わることができ、とても嬉しく思います。牛頸浄水場と海水淡水化センターを見学して、福岡都市圏には一級河川がないながらも、私たちのもとへ水道水を安定して供給するために、様々な工夫がされていることを学びました。

今回、水の大切さや福岡地区水道企業団のはたらきの大切さを改めて学ぶことができました。この経験を今後のイベントの企画運営に活かしていきたいです。

#### 浅井

2 月の下旬に施設見学があり、私は牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターの 2 日間参加した。なんとなく、水を作ったり貯めたりしている場所かなと参加する前は思っていたが、実際に中を見学してみると想像していたよりも大きい施設に多くの機械が完備していた。見学後、この 2 つの施設が福岡地区の生活を支えている場所なんだなと感じた。

これから本格的にマネジメントスタッフとしての活動が始まる。この施設見学で感じたことを活かして活動に取り組みたい。

#### 藤山

2 月 17 日に牛頸浄水場・水質センターに見学に行きました。

私は浄水場を見るのが初めてだったため、設備の多さに驚きました。段階を踏むごとに目に見えて水が綺麗になっていき、浄水場の重要性を実感することができました。浄水場の設備だけでなく、水質検査の一部も見せていただき、私たちの生活に欠かせない水の安全性を追求する姿に感動しました。普段何気なく使ったり、口にしている水を大切にしたいなと改めて感じました。



牛頸浄水場の見学

## 山下

学生おうえん隊の最初の活動として、牛頸浄水場及び水質センターと海水淡水化施設のみみずピアを見学しました。

福岡都市圏は、全国的に見ると水不足の傾向にある都市で、渇水で人々が困らないように様々な工夫を通して、安全安心な水を供給していることが印象に残りました。

みみずピアは、日本最大級の海水淡水化施設であり、周囲の環境、エネルギーの再利用や副生成物の有効利用など多くのことに配慮して真水が生産されています。私は、全国に誇るべき施設だと感じ、多くの市民の方々にもこの施設について知っていただきたいと思いました。みみずピアのことだけではなく、水の大切さや水道事業についても広められるようこれから活動していきたいと思えます。



海水淡水化センターの見学

## 堀井

浄水場では、厳しい品質管理の下、送水されてきた水を、安心して利用できるように尽力されていた。又、みみずピアでは、最大級の設備を用いて、環境に配慮しつつも、福岡都市圏の生活を支えるため、海水を淡水へ昼夜を問わず運用されていた。

水道水は、安価で安心安全で、十分量確保されていることが求められる。だが、地球上にある真水はごくわずかである。この相反することに対し、いかに多くの人々の尽力あって私たちが水道水を利用できているのかということを学んだ。大切に使いついでと改めて思った。

## 松浦

新たなことに挑戦し、様々なことを学びたいと思い、参加を決めましたが、説明会までは不安なことが多く緊張していました。しかし、説明会はとても温かい雰囲気での活動がとても楽しみになりました。

牛頸浄水場の見学で、まず、印象に残っていることは浄水場の広さです。浄水場の前を何度も通ったことがあったのですが、思っていた以上の広さに驚きました。普段当たり前に使っている水ですが、私たちが安全に使うことができるように、24 時間体制で安全な水であるかを検査し、調整してくださっています。水質検査、細菌検査、微量化学物質検査、生物試験といったいくつもの検査を通して私たちの元に安全な水が届いています。

## 竜口

今回、私は福岡地区水道企業団開設 50 周年事業のマネジメントスタッフとして関わることとなり、説明会や施設見学などに参加しました。

まず説明会では、福岡地区水道企業団の仕事の説明や、私たちにマネジメントスタッフとして、今回の 50 周年事業を是非盛り上げて頂きたいとの説明などを受けました。

次に施設見学では、牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターに行きました。どちらも環境の負荷をとっても考えていて、それでいて安全で綺麗な水を私たちに届けるために日々頑張ってくれている施設だということが分かりました。

私はマネジメントスタッフとして、この説明会と施設見学で感じたことも今回の 50 周年事業を通して 1 人でも沢山のの人に伝え、盛り上げていけたら良いなと思いました。

## 児濱

私の印象的だったことは、福岡にある海水淡水化センターはとても貴重であることです。海水淡水化センターは、コスト、地形、様々な業種の方の協力等の条件が揃って初めて実現するものでした。例えば、費用を抑える為に水車の要領で動力を回収する等の工夫がありました。又、海水淡水化センターで出来た濃塩水の処理の為に、塩分濃度の低い博多湾との連携や漁師の方に漁業をする上での協力を仰ぐ等の関わりがありました。

私は見学するまで全く水の知識がありませんでしたが、見学で学んだ知識が繋がった時、遠くに感じた水の生産が身近に感じると同時に、普段使っている水は簡単に湧き出るものではないと実感しました。水の大切さを多くの人に広めたいきっかけになりました。

## 徳永

私は、説明会に参加させていただいたのですが、現在まで普段使っている水がどこから来ているのかについて考えることはなく、当たり前のものでして使っていました。しかし、説明会を受け、現在に至るまでどのような歴史を辿って来たのかを知り、水を不自由なく使っている現状に感謝の気持ちを抱くようになりました。

また、私は、マネジメントスタッフのような活動を経験したことがなく、説明会というものへの先入観から非常に緊張していました。しかしながら、企業団の皆さんはフレンドリーで接しやすく、最後まで楽しくお話を伺うことが出来ました。



牛頸浄水場の見学

## 柴崎

私は海の中道奈多海水淡水化センターまみずピアの施設見学に行きました。

海の水が水道水に使われているイメージが今までありませんでしたが、まみずピアでは実際に説明を聞きながら施設を見学することができ、海の水がどのようにして私たちの普段使う水になっていくのか、とてもわかりやすく知ることができました。

まみずピアが日本最大の海水淡水化センターであることに驚きました。福岡市にそのような施設があることを知らない方も多いと思うので、多くの方がこの施設について、そして福岡市の水について知っていただけるよう頑張りたいと思いました。



水質センターの見学

## 植村

私たちの生活の中で蛇口を捻れば当たり前に出てくる水が、どこからどのように運ばれてどのような過程を経て使える状態になっているのか、資料や画像だけでなく実際に施設内を自分の目で見て見学することでより具体的に学ぶことができました。

施設見学を通して初めて学び驚くことは沢山あったのですが、その中でも特に印象に残っているのが、筑後川から流れてきた水が、私たちが安心して利用できるような水になるまでには、自分が想像していたよりも遥かに多い過程があり、そして、さらに厳しい水質チェックを経て長い送水管を通過して、やっと届いているという事実です。

毎日、安心して飲める水が届くということは、沢山の人がそれを当たり前にするために働いているからだとすることを肌で感じ、その事に感謝して、これまで以上に水を大切に使用しようと改めて思いました。貴重な体験をありがとうございました。

## 牛嶋

施設見学や説明会に参加して、水道処理施設の規模や処理技術に驚きましたが、中でも24時間365日、厳戒態勢で警備や水質管理をしているという話が印象に残っています。大抵2人体制で、夜間も勤務するそうです。コロナ禍だとしても、水の供給は欠かせないので防御服を着て働くこともあったらしく、いかに水の安定供給が重要であるかがよく分かりました。

この体験を通じて、私たちにとっての当たり前かつ大事なものは、誰かから守られてできているのだと改めて認識することができました。これからの活動では、今回学んだことや感じたことを色々な人にも発信していきたいです。



海水淡水化センターの見学

## 加瀬

今回、福岡地区水道企業団のマネジメントスタッフとして活動することになった加瀬です。福岡市が水不足であったことに説明会を通して初めて知りました。私が生まれた頃には、もう水は、十分に普及しており、水が蛇口から出るのは、当たり前でした。しかしその当り前は、水道企業団の施設や設備により成り立っていることを知り、すごいなと感じました。

先日、海水淡水化センターに訪問しにいったのですが、そこには、日本に1つしかない技術をもった設備を見学しました。福岡市に水を供給するためにどうすればいいか色々な工夫が施されていることに気付きました。50周年という節目の機会に多くの人々に水の大切や設備の素晴らしさを伝えていきたいと思います。



50周年記念事業  
名誉おうえん隊長  
アイアンキング

©宣弘社

## ■ 水源地域との交流事業

### 実施レポート

#### ● 大山ダム水源地域上下流交流事業【開催されました】〔2/25（土）大分県日田市大山町〕

日田市大山町において、大山ダム水源地域上下流交流事業実行委員会（日田市、水資源機構大山ダム管理室、老松生産森林組合、NPO 法人筑後川上流倶楽部等で構成）の主催により、福岡都市圏の水源地のひとつである大山ダムの上流域の住民と下流域の住民、関係者が交流を行い、水源林を守り育てることについての相互理解を深めることを目的として、森林保全活動や交流会が開催されています。



大山ダムの見学

今年は、4年ぶりの開催となり、福岡都市圏から参加された太宰府市民 25名と都市圏自治体の職員は、最初に大山ダムを訪れ、ダム堤体や監査廊を見学しました。

「<sup>たらいぼる</sup>田来原美しい森づくり公園」では、日田市や太宰府市の市民、福岡水源林ボランティアの皆さんをはじめ、日田市、福岡市、福岡県南広域水道企業団、大野城市、春日那珂川水道企業団、古賀市、新宮町、福岡地区水道企業団の職員など約 140 名が参加し、シイタケほだ木に種駒を打つ体験をしました。

シイタケの駒打ちは、なかなかできないので、貴重な体験となったと思います。2年後には、りっぱなシイタケが取れると思います。

作業後は、大山町の産物を使ったお弁当をいただきながら、参加者間の交流と親睦を深めました。

閉会后、太宰府市の皆さんは、「日田おおやま梅まつり」会場を訪ねました。梅の開花は三分咲き程度でしたが、梅園の散策、梅酒工場や酒蔵の見学で楽しまれていました。

参加者の皆さんは、水や森づくりの大切さを実感するとともに、大山町での一日を満喫されたことと思います。

〈総務課 田子森〉



大山ダムの監査廊見学



田来原美しい森づくり公園にて



シイタケ駒打ち作業



しいたけ駒打ち作業の様子



ほだ木の伏せ込み



昼食・交流会

## ■ 水源地域の主なイベント 【お出かけください】

### 4月の予定

#### ● 第66回久留米つつじまつり〔4/7（金）～4/23（日）久留米市〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）



「久留米つつじまつり」は、熊本市、鹿沼市と並んで、「日本三大植木まつり」のひとつに数えられる植木市です。2021年から「道の駅くるめ」の南側、「くるめ緑花センター」内の特設会場で開催されています。遠方からのお客様やリピーターなども多く、施設内では、10万種100万本の植木、苗木、草花を取り揃えています。

施設内には、人気のベーカリーショップ、本格的なカレーで有名なカフェやさつまいもの専門店もあり、東京ドームより広い敷地は、歩道もバリアフリーとなっており、散策にも最適です。各所にベンチも設置されており、1日ゆったりできます。

また、近くの久留米市世界つつじセンターも、この時期に合わせて一般公開されています。満開のつつじをはじめお気に入りの「みどり」を探しに来てはいかがでしょうか。

日程 令和5年4月7日（金）～4月23日（日） 10：00～17：00

開催場所 くるめ緑花センター内特設会場

問い合わせ先 久留米つつじまつり実行委員会事務局（くるめ緑花センター協同組合内）

TEL 0942-47-2581 FAX 0942-47-2622

e-mail ryokka2581@gmail.com

## 水源情報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

アドレスをクリックすると、  
【水源情報】が載っています  
ので、見てね！！



・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

## 編集後記

最近、話題の対話形式の質問に自然な文章で答えを返してくれる人工知能（A I）、「ChatGPT」をいろいろ試してみました。その中で企業団に少し関係するテーマの質問と回答を紹介します。

質問は「筑後川と水道と梅と音楽を使って詩を作ってください。」

回答は「筑後川の水を汲んで 水道を通して家に運ぶ

梅の花が咲き誇る 季節に音楽を聴きながら過ごす

水は命を与える源 筑後川の清らかな水は私たちの日常を支えるありがたい贈り物

梅の花は春の使者 その香りと美しさに包まれて心が躍るような幸福を感じる

音楽は心の琴線に触れる 筑後川の流れや梅の花の優しさに一層深い感動を与えてくれる

筑後川の水と水道と梅と音楽 私たちの生活を彩る 自然の贈り物に感謝し その恵みに心から感謝する。」（全文そのまま掲載）

です。少し変なところもありますが、10秒程度でこのような文章を作ってくれる技術は本当にすごいと思います。

今後、さまざまな検索エンジンにA Iが搭載されるようですが、今でも完全な間違いを自信たっぷりに文章化しているものがあります。使い方次第ですが、自分で調査・検討せずA Iに頼ると様々な問題を引き起こし、大変な事態となると思います。

人間の脳と同レベルのA Iが誕生する時点は、「シンギュラリティ（技術的特異点）」と呼ばれますが、今がその入口となっている感じで、SF小説や映画でよく取り上げられるA Iが人類を支配する時代が迫ってきているように危惧しています。

ロシアのウクライナ侵攻が始まって1年を越えましたが、戦闘は続いており、民間人を含めて犠牲者は増え続けています。また、2月6日にトルコ南部で発生した地震により、トルコ・シリアで5万2千人以上の人々が亡くなりました。戦争の早期終結を願うとともに戦争や地震の犠牲者に対してご冥福をお祈りします。

<田>

### ★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いいたします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください  
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp



大山梅まつり会場の梅

たくさんの情報提供を  
お待ちしております！！



## 海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

### ○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

#### ○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

#### ○見学日

- ・月曜日から金曜日
- ・毎月第3日曜日
- ・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

- 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。見学を希望される場合は、7日前までに電話で予約のうえ、書面による申込み（FAXまたは郵送）をお願いします。なお、一度に見学できる人数は、約30名までとしています。（30名を超える場合は、ご相談ください。）

### ※ 施設見学の予約状況の確認、申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

**なお、牛頸浄水場の見学受け入れについては、引き続き停止しています。**

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページやSNS（Twitter、Facebookページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事やSNSで発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNSの機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube<sup>JP</sup>

福岡地区水道企業団

